

令和6年度第6回国分寺市子ども・子育て会議

令和6年12月23日

国分寺市役所

書庫棟会議室

次 第

1 議事

国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画（令和5年度実績）の評価について（第4章）基本目標Ⅳ

2 その他

■ 配付資料

- 6-6-1 施策評価書及び重点事業評価シート（令和5年度）一式（第4章）
基本目標Ⅳ
- 6-6-2 令和6年度第5回国分寺市子ども・子育て会議委員意見まとめ

令和6年度第6回国分寺市子ども・子育て会議

日 時：令和6年12月23日（月） 午後6時30分～

場 所：国分寺市役所 書庫棟会議室

出席者（敬称略）

委 員	渡辺雅之 （オンライン）川喜田昌代（会長）、田嶋大樹（副会長）、山本一二郎、矢山浩輔、 殿下順子、双木良、原弘和、相馬千鶴
事 務 局	石丸明子、千葉昌恵、桑野正樹、山元めぐみ、坂本岳人、 斉藤幸芳、山田憲晴、末永理彩

会 長	本日もお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。定刻になりましたので、会議を始めます。会議を開催するに当たり、事務局から委員の出欠席状況をお知らせください。
事 務 局	委員の出席について御報告いたします。本日は、出席9名、欠席2名です。つきましては、委員の過半数の出席がありますので、国分寺市子ども・子育て会議設置条例第7条第2項に基づき、国分寺市子ども・子育て会議が開催できることを確認しております。よろしくお願いします。
会 長	それでは、会議を始めるに当たり、事務局から配付資料の確認をお願いします。
事 務 局	配付資料について御説明いたします。今回の会議のために事前に郵送及びメールにて送付した会議資料等は、開催通知、次第、資料6-6-1と6-6-2です。なお、資料番号については、各資料1枚目右上に表示しておりますので御確認ください。 配付資料に過不足等はございませんか。配付資料については以上です。
会 長	資料の確認が終わりましたので議事に入ります。本日の議事は1件です。 前回会議において、第4章基本目標Ⅳの評価を行いました。委員の意見を踏まえて、事務局が子ども・子育て会議の評価案を作成しました。 本日は、その評価案の内容確認を行い、問題がなければ、本日の会議で評価内容を確定して、諮問第1号への答申としたいと考えております。 それでは、まず、前回の会議において委員からの質問事項について、事務局から回答してもらい、続けて、事務局から評価案についての説明をお願いしたいと思います。
事 務 局	それでは前回会議において、回答が保留になっていた事項について、お答えさせていただきます。 まず、通番52「障害への理解促進・普及啓発事業」について、障害の「がい」の字の取扱いについて、市としてはどのように考えているのか、という御質問について回答します。 まず、国では、厚生労働省や文部科学省で検討が行われました。平成22年に、

	内閣府の障がい者制度改革推進会議で議論がされ、結論として、当面の対応としては、漢字表記を維持することが決まりました。平成 23 年に文部科学省が障害の表記に関する検討会を設置し、学校教育では従来のとおり漢字表記とすることが決定しました。障害者差別解消法の制定に当たっても議論が行われ、法律名では漢字表記を採用しましたが、実態としては多様性を認める方針としました。また、近年は地方自治体や民間団体では、ひらがな表記を採用する動きも広がっています。表記については、当事者や関係者の間でも意見が分かれており、現在でも統一的な見解は定まっておらず、暫定的に「障害」の字を使用しています。 以上の状況を踏まえ、当時、表記については本市においても検討を重ねましたが、まずは障害に関する理解や多様性を深める姿勢が大切であるとして、結果として現在の表記になっています。 次に、通番 64「小・中学生被爆地派遣（ピースメッセンジャー）」について、令和 5 年度に参加した児童の人数やその学年、事前勉強会の回数など教えてください、という御質問に回答します。 参加者の学年内訳は次のとおりです。小学生が 5 年生 3 人、6 年生 4 人の計 7 人で、中学生が 1 年生 2 人、2 年生 3 人の計 5 人で、中学 3 年生は募集をしていません。小・中学生の合計は 12 人です。事前勉強会は 1 回開催しており、内容としては、被曝体験者による講話や原爆についての説明、グループディスカッションを行いました。 前回会議における御質問の回答は以上です。
事 務 局	続きまして、評価案の内容について、資料 6-6-1、6-6-2 を使用して説明いたします。 先ほど会長から御説明いただいたように、前回の会議においていただいた御意見を踏まえ、評価案を作成しました。 資料 6-6-2 を御覧ください。この資料は第 5 回の子ども・子育て会議において委員の皆様からいただいた御意見です。 まず、基本目標Ⅳ施策（１）から御説明いたします。 １つ目の御意見は、通番 52「障害への理解促進・普及啓発事業」について、外見上ではわからない障害がある方への視点も持ちながら取組を進めてほしいという御意見です。これを踏まえ、国分寺市子ども・子育て会議の評価として、施策の方向性に係る実施状況を次のように記載しました。通番 52「障害への理解促進・普及啓発事業」について、事業の実施に当たっては、多様な障害の特性を理解し、車椅子利用者や視覚障害者など、外見から分かる障害だけでなく、外見からは分からない障害がある方にも配慮した取組を、それぞれのニーズに応じて適切に進められたい。 次に、通番 55「児童虐待に対する早期発見・深刻化防止」について、質的・量的評価ともに「b」としていますが、「a」ではないかという御意見をいただきました。これを踏まえ、個別事業の実施状況に次のとおり記載しました。通番 55

	「児童虐待に対する早期発見・深刻化防止」について、例年通りの事業実施を理由に評価を「B」としているが、令和5年度目標（量的目標）が「事業評価は数値化しづらい。」としており、目標達成の判断基準について客観的な判断が困難である。今後の事業実施に当たっては、目標設定と評価理由の記載について、工夫・検討されたい。 続きまして、施策（2）について御説明します。 通番 60「生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）」及び通番 61「受験生チャレンジ支援貸付事業」について、周知方法を、学校の先生やスクールソーシャルワーカーなど身近な人からの直接の案内を検討してはどうか、またボランティア講師の募集に大学の掲示板などを利用してはどうか、と御意見をいただきました。この御意見を踏まえ、施策の方向性に係る実施状況を次のように記載しました。 通番 60「生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）」及び通番 61「受験生チャレンジ支援貸付事業」について、事業の周知方法として、学校教員やスクールソーシャルワーカーなど、子どもに身近な立場からの直接的な案内についても検討されたい。また、ボランティア講師の募集については、大学の掲示板を活用するなどして学生の参加を促進し、講師確保に努められたい。 次に、通番 64「小・中学生被爆地派遣（ピースメッセンジャー）」について、令和5年度に参加した児童の人数やその学年、事前勉強会の回数について御質問をいただき、この点も評価シートに記載したほうが市民の方により分かりやすい内容になるのではないかと御意見をいただきました。これを踏まえ、個別事業の実施状況を次のとおり記載しました。通番 64「小・中学生被爆地派遣（ピースメッセンジャー）」について、より事業内容や実績が市民に伝わるものとなるよう、参加した児童の人数やその学年、事前勉強会の回数、成果報告の有無等について、詳細な実績を重点事業シートに記載されたい。 続きまして、施策（3）について御説明します。 通番 70「不登校児童・生徒への支援の充実」について、量的目標が「不登校の状況にある児童・生徒の中で、トライルームに通室する人数を増やす」となっていますが、トライルームは居場所の選択肢の一つであり、通室することが事業の本質的な目的ではないのではないかと御意見をいただきました。これを踏まえ、個別事業の実施状況を次のとおり記載しました。通番 70「不登校児童・生徒への支援の充実」について、量的目標がトライルームにおいて「不登校の状況にある児童・生徒の通室数をできる限り増やす。」と設定されているが、本事業の本質的な目的は、不登校児童・生徒の社会的自立と学校生活の質的向上であり、地域の居場所での学習活動やオンライン授業、フリースクールの利用など、不登校児童・生徒の学びの場、居場所の確保には多様な選択肢があることから、個々の児童・生徒のニーズに応じた支援を提供できるよう、目標設定について検討されたい。 基本目標Ⅳの評価案については以上です。
--	---

会 長	事務局の説明が終わりました。事務局から説明のあった内容について、質疑等ある方は、挙手にてお願いいたします。 よろしいでしょうか。 それでは、これまでの評価内容を諮問第1号に対する答申としたいと思います。答申書の鑑文については、例年通りのものとし、本日付けでの答申としたいと考えております。 委員の皆さんよろしいでしょうか。 それでは、本日の議事は、すべて終了しました。 本会議の委員任期は、令和7年7月までとなっておりますが、例年のスケジュールでは、今回の会議が、事実上、委員任期中最後の会議となります。せっかくの機会ですので、出席された委員の皆さんから一言ずついただければと考えています。 委員の皆さん順番にお願いできますでしょうか。
委 員	2年間ありがとうございました。計画に載っている事業全ての理解はなかなか難しかったのですが、2年かけて学び、理解したような気がします。スポーツ、人権、障害など、自分の専門分野については意見を言うこともありましたが、総じて自分の方が勉強させていただいたような気がします。2年間、どうもありがとうございました。
委 員	私は学童クラブを専門としていますが、この会議に参加して、国分寺市はほかにも様々な事業を実施しているということがわかりました。せっかくたくさんの良い事業を実施されているのに知らないことが多いと思ったので、もっと自信を持って周知していけるといいと思いました。2年間ありがとうございました。
委 員	2年間ありがとうございました。前半は皆様と顔を合わせて積極的な意見交換ができたと思いますが、後半はなかなか出席できない日もありました。実際にでき上った資料などを拝見すると、皆様の御意見もきちんと反映された形で、取組が一つ出来上がったと感じています。委員になった際に私の子どもは1歳でしたが、もう3歳になり、計画の進行を感じました。この計画が実際に運用されるところを、市民として見守りたいと思います。ありがとうございました。
委 員	2年間ありがとうございました。大変勉強になる会議で、知らないことも多く、もっとみんなに知らせていくべきだと思うこともたくさんありました。その知らせていく役割が、この会議で学んだことにつながっていくのかと思います。市民の皆様にはこんな政策があって実行されていることをもっと知ってもらわなければならないと思いました。知っていたら制度を使ったり市に頼ったりできたという方も多かったのではないかと感じました。みなさんの意見を聴けたこと、大変貴重な機会だったと思います。今後も、国分寺市の子育て世代の皆様がいきいきと生活できるような施策を進めていただければと思います。ありがとうございました。
委 員	2年間ありがとうございました。みなさんの御意見を聴いて、自分の知識も増えていくように感じました。自分は保育園の保護者としての立場で参加しました

	が、会議が進むにつれて、子どもが小学生になり、学童の分野にも興味を持つようになりました。保育園は数の減少が始まり、保育の質の向上などの切り替わり点で、現場の変化を肌で感じました。国分寺市はいろんなことを考えながら事業を進めているということが実感できてよかったです。
委 員	2年間ありがとうございました。市の会議に参加するのは初めての経験でしたが、市の事業がどのように進められているのか、自分でも見えたのがいい経験になりました。子どもの保護者の立場として様々な意見を言うこともありましたが、対応していただけてありがとうございます。 この縁を大切に、またどこかで活動などできたらいいなと思います。
委 員	2年間ありがとうございます。園児の保護者としての立場でこの会議に参加しましたが、たくさんのプロフェッショナルの方の意見を聴くことができ、大変勉強になりました。この会議までに大量の資料を作成いただいて、市の職員の方も子ども政策に尽力されているということが伝わりました。ありがとうございます。
副 会 長	2年間ありがとうございました。改めて子ども子育て政策が多岐にわたる、量の多い政策であるということを実感し、とりまとめていただいた市の尽力に感謝したいと思います。参加された委員の皆様のそれぞれの立場からの御意見にも学ばせていただくことが多く、自分の研究や仕事にもつながったと思います。貴重な機会をいただいてありがとうございました。来年度から新しい計画が始まるということで、新しい政策が出るなどめまぐるしく状況は変わっていくと思いますが、それぞれの取組の意味を理解しつつ、様々な機会に考え、アクションしたいと思いました。2年間、どうもありがとうございました。
会 長	0歳から18歳までの子どもの期間というのは大変長い期間ですが、バランスよく各分野からの御意見を聴きながら一つの計画としてまとめることの大変さを感じました。私の専門は乳幼児期、就学前児童で、自分の専門分野では意見をたくさん言いたくなってしまうのですが、子ども・若者といってもかなり広範囲になりますので、乳幼児期のことばかりに焦点を当てるわけにもいきません。その点をバランスよくまとめてくださっている国分寺市の皆様に感謝したいと思います。 また、子どもの最善の利益の保障することについて、改めて重要であると感じました。大人の一員として、それを肝に銘じて子どもために力になりたいと思います。 2年間、皆様の御協力のおかげで会議進行ができました。御協力いただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございました。 事務局からその他ありますでしょうか。
事 務 局	計画の評価については、本日付けの答申として受け、後日、委員の皆様には評価報告書としてまとめたものをメールにて送付する予定です。印刷したものを御希望の方は御連絡いただければと思います。

事務局	子ども家庭部長です。毎回夜遅くまで、長い時間の会議に御協力いただきありがとうございます。大量の資料に目を通していただいて、またその他の資料なども参照いただき、普段のそれぞれのお立場からの御意見等を率直にいただける非常に貴重な機会であったと思います。市の事業を進めるに当たっては、市民の皆様意見を聴きながら進めることが非常に重要ですが、この会議もそのような場の一つであったと思います。2年という長い期間、お付き合いいただき、貴重な御意見をくださり誠にありがとうございます。
会長	それでは、以上を持ちまして、本会議を閉会といたします。本日はありがとうございました。

— 了 —